

「ヘルス・データ活用による健康増進に係る取組についての評価基準」取組事例について

◆歩数管理アプリ等の登録者数増加やアプリ参加者の平均歩数増加のために実施した取組

【取組】

- ・実施時期：令和6年4月～7年3月
- ・対象者：20歳以上の住民
- ・取組内容：①4月 がん検診申込書通知時（世帯単位）にチラシ同封
町広報誌記事掲載
保健センター事業案内を世帯単位で配布
窓口にチラシを設置
- ②6月～ がん検診（集団）での問診時にチラシ配布
- ③9月・12月 町広報誌記事掲載（各1ページ）
- ④保健センター、国保で実施の健康教室、健康づくりの住民団体に対しチラシ配布
- ・結果/効果：評価期間における登録者数の増加（約1.8倍）

◆歩数管理アプリ等に関連した健康増進事業の中で感じた課題

- ・本町ではアプリのほか、活動量計（歩数計）を選択できる事業として実施しているが、高齢の住民の場合、アプリの利用を敬遠する傾向にある。理由としては、担当者が一緒に行う旨を伝えた場合でも設定後、そのアプリを自分で使うことへの懸念を訴える方が多い。（活動量計の場合は、見るだけで歩数が分かるため）